

〈ミニ レクチャー〉
オープンアクセス講座
Mini lecture about Open Access

柴田 育子(一橋大学附属図書館)

Yasuko SHIBATA (Hitotsubashi University Library)

第7回 SPARC Japan セミナー2012

「図書館によるオープンアクセス財政支援」



一橋大学附属図書館
HITOTSUBASHI UNIVERSITY LIBRARY

今日のお話

- オープンアクセスとは？
 - オープンアクセスのイメージ
 - オープンアクセスの歴史
 - オープンアクセスの道
- オープンアクセスの種類
 - オープンアクセスの種類
 - 前回(第6回)のSPARC Japanセミナー
 - 本日(第7回)のSPARC Japanセミナー



オープンアクセスとは？



オープンアクセスのイメージ

- 一橋大学図書系職員対象アンケート
 - オープンアクセス「全く分からない」
→5名(全体の10%ほど)

Ex.ビッグディール「全く分からない」
→20名(全体の43%ほど)

- 「オープンアクセス」の「言葉」の認知度は高い
- 「グリーンOA」「ゴールドOA」
 - 知っている人は少数



オープンアクセスとは？

- オープンアクセス (= Open Access ; OA)
- 定義 : 査読済みの論文が, 無料で制約なしにアクセスできること

「査読された雑誌論文で, 広くインターネット上で, 無料で利用でき, (中略)すべての利用者に閲覧, ダウンロード, コピー, 配布, 検索, リンク, 検索化のためのソフトウェアのデータの取り込み, その他合法的な目的での利用を, 財政的, 法的, 技術的障壁なしに許可する」

(*ブダペスト・オープンアクセス・イニシアティブの日本語訳

倉田敬子. 学術情報流通とオープンアクセス. 2007. P. 146)



オープンアクセスの2つの道

- オープンアクセスには主に2つの道がある
 - Gold Road
 - Green Road



ゴールドロード

グリーンロード

オープンアクセスの種類



説明の前に

- オープンアクセスは無料でアクセスできる
- その出版費用は誰が負ってるの？
 - オープンアクセスは完全に無料ではない
 - コストは誰かが必ず負っている

財政基盤の面からオープンアクセスの種類を見ていきましょう



オープンアクセスの種類

	ゴールド・ロード				グリーン・ロード			
説明	雑誌自体をOAにする方式 APC(論文出版加工料)を出版社に払う雑誌が主流				著者が論文をリポジトリ等にセルフアーカイブしてOAにする方式			
ビジネスモデル	APC			助成金	機関リポジトリ		主題リポジトリ	
	タイトル毎 (全論文)	論文毎 (ハイブリッド)	リダイレクト		自発的	義務化	自発的	義務化
例	PLoS-One	Springer Open Choice	SCOAP ³	eLife	HERMES-IR (一橋大学の機関リポジトリ)		arXive.org	PMC
財政基盤 (費用負担者)	APC (投稿者)	APC (投稿者) +購読費 (図書館)	購読費 (図書館) ↓ 振替	Wellcome 財団等の 助成団体	図書館		コーネル 大学図書館	政府

ここに注目!



オープンアクセスの種類

前回のSPARC Japanセミナーでは「APC」の話が中心でした

	ゴールド・ロード				グリーン・ロード			
説明	雑誌自体をOAにする方式 APC(論文出版加工料)を出版社に払う雑誌が主流				著者が論文をリポジトリ等にセルフアーカイブしてOAにする方式			
ビジネスモデル	APC			助成金	機関リポジトリ		主題リポジトリ	
	タイトル毎 (全論文)	論文毎 (ハイブリッド)	リダイレクト		自発的	義務化	自発的	義務化
例	PLoS-One	Springer Open Choice	SCOAP ³	eLife	HERMES-IR (一橋大学の機関リポジトリ)		arXive.org	PMC
財政基盤 (費用負担者)	APC (投稿者)	APC (投稿者) +購読費 (図書館)	購読費 (図書館) ↓ 振替	Wellcome 財団等の 助成団体	図書館		コーネル 大学図書館	政府



前回(第6回)のSPARC Japanセミナー

- 「オープンアクセスによって図書館業務はどう変わるのか～図書館のためのオープンアクセス講座～」
 - 雑誌がオープンアクセスになったら購読料はかからないが...?
 - APC(Article Processing Charge: 論文出版加工料/論文投稿料/論文処理料金)
→ 公的資金で負担へ(学内経費etc.)
 - 図書館業務はどう変わっていくのか議論



本日（第7回）のSPARC Japanセミナー

- 「図書館によるオープンアクセス財政支援」
 - 図書館がオープンアクセスを支援
 - 機関リポジトリだけではない
 - arXiv.org
 - 主に物理学、他に数学、計算機科学、数理生物学などの論文が登録されているプレプリントを収集・公開
 - SCOAP³
 - 高エネルギー物理学分野の査読付きジャーナル論文のオープンアクセス化を目的とした、国際連携プロジェクト

詳しい発表はこの後の講演で！



オープンアクセスの種類

今回のSPARC Japan セミナーでは...

	ゴールド・ロード				グリーン・ロード			
説明	雑誌自体をOAにする方式 APC(論文出版加工料)を出版社に払う雑誌が主流				著者が論文をリポジトリ等にセルフアーカイブしてOAにする方式			
ビジネスモデル	APC		リダイレクト	助成金	機関リポジトリ		主題リポジトリ	
	タイトル毎 (全論文)	論文毎 (ハイブリッド)			自発的	義務化	自発的	義務化
例	PLoS-One	Springer Open Choice	SCOAP ³	eLife	HERMES-IR (一橋大学の機関リポジトリ)		arXiv.org	PMC
財政基盤 (費用負担者)	APC (投稿者)	APC (投稿者) +購読費 (図書館)	購読費 (図書館) ↓ 振替	Wellcome 財団等の 助成団体	図書館		コーネル 大学図書館	政府

